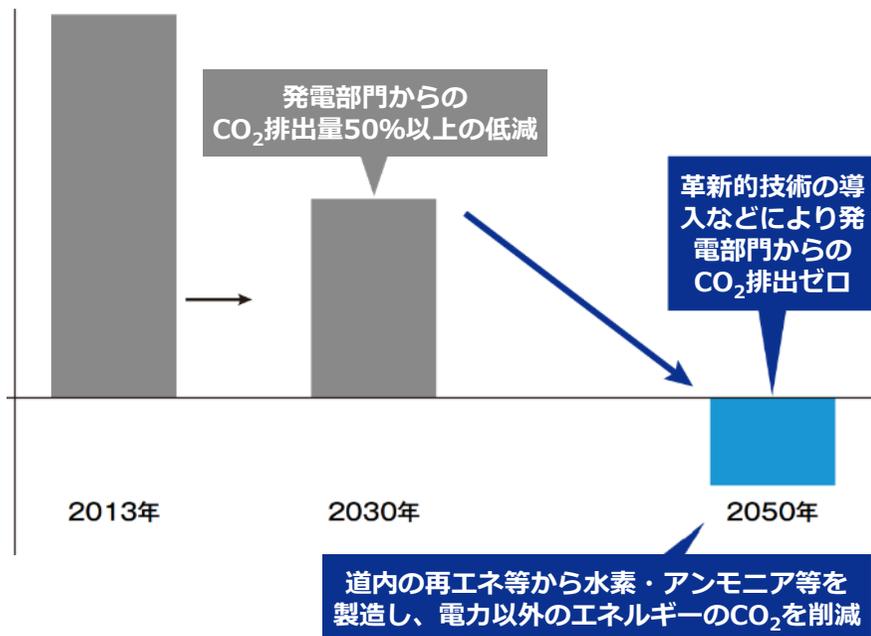


# 北海道電力の脱炭素に向けた 取り組みについて

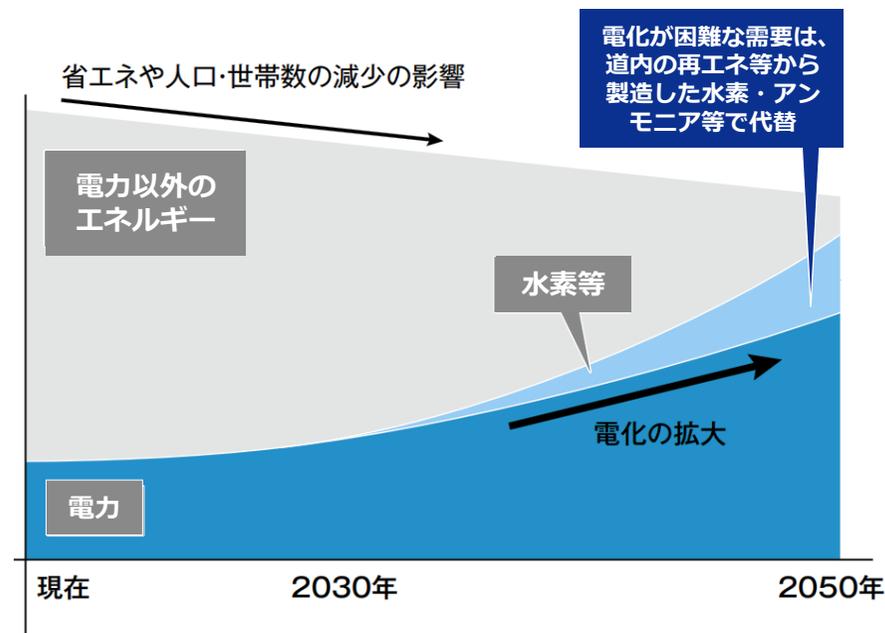
2024年2月5日  
北海道電力株式会社

- ほくでんグループは、2050年の北海道におけるエネルギー全体のカーボンニュートラルの実現に最大限挑戦します。
- 発電部門については、2030年の目標（CO<sub>2</sub>排出量を2013年度比50%以上低減）達成に加え、長期的に「CO<sub>2</sub>排出ゼロ」を目指しています。
- さらに、電化拡大やグリーン水素の利活用などにより、電力以外のエネルギーも含め、「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献してまいります。

## 【将来のCO<sub>2</sub>排出量削減のイメージ】



## 【将来のエネルギー需要のイメージ】

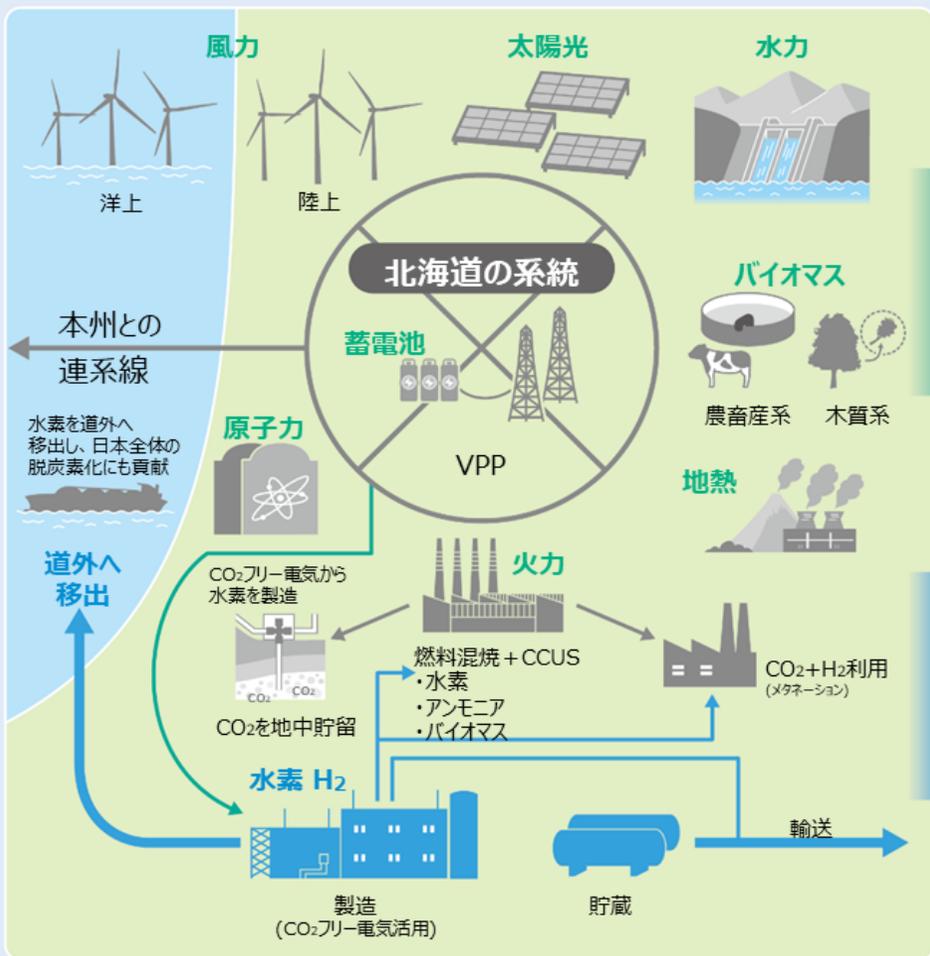


- 供給サイド、需要サイド、送配電ネットワークにおいて、革新的技術の活用を含め、あらゆる手段を総動員してまいります。



## 供給サイド

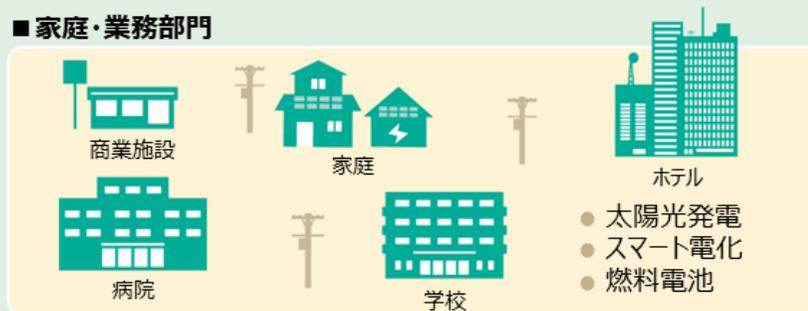
- 非化石電源の導入拡大
- 火力のCO<sub>2</sub>フリー化
- CO<sub>2</sub>フリー電気を活用した水素製造



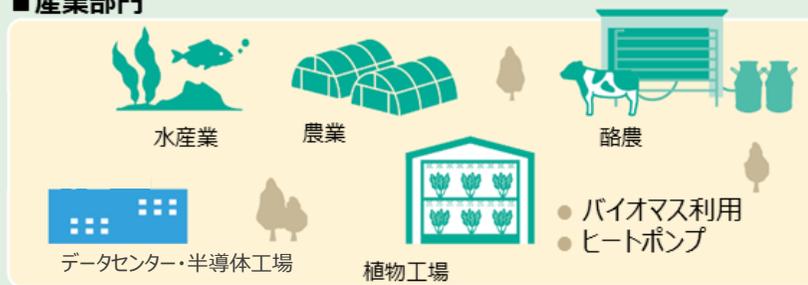
## 需要サイド

- 各部門における電化拡大
- CO<sub>2</sub>フリー水素の利活用
- 化石燃料からのエネルギー転換

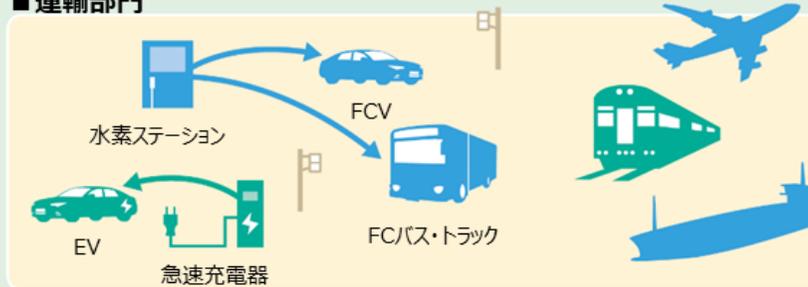
### ■ 家庭・業務部門



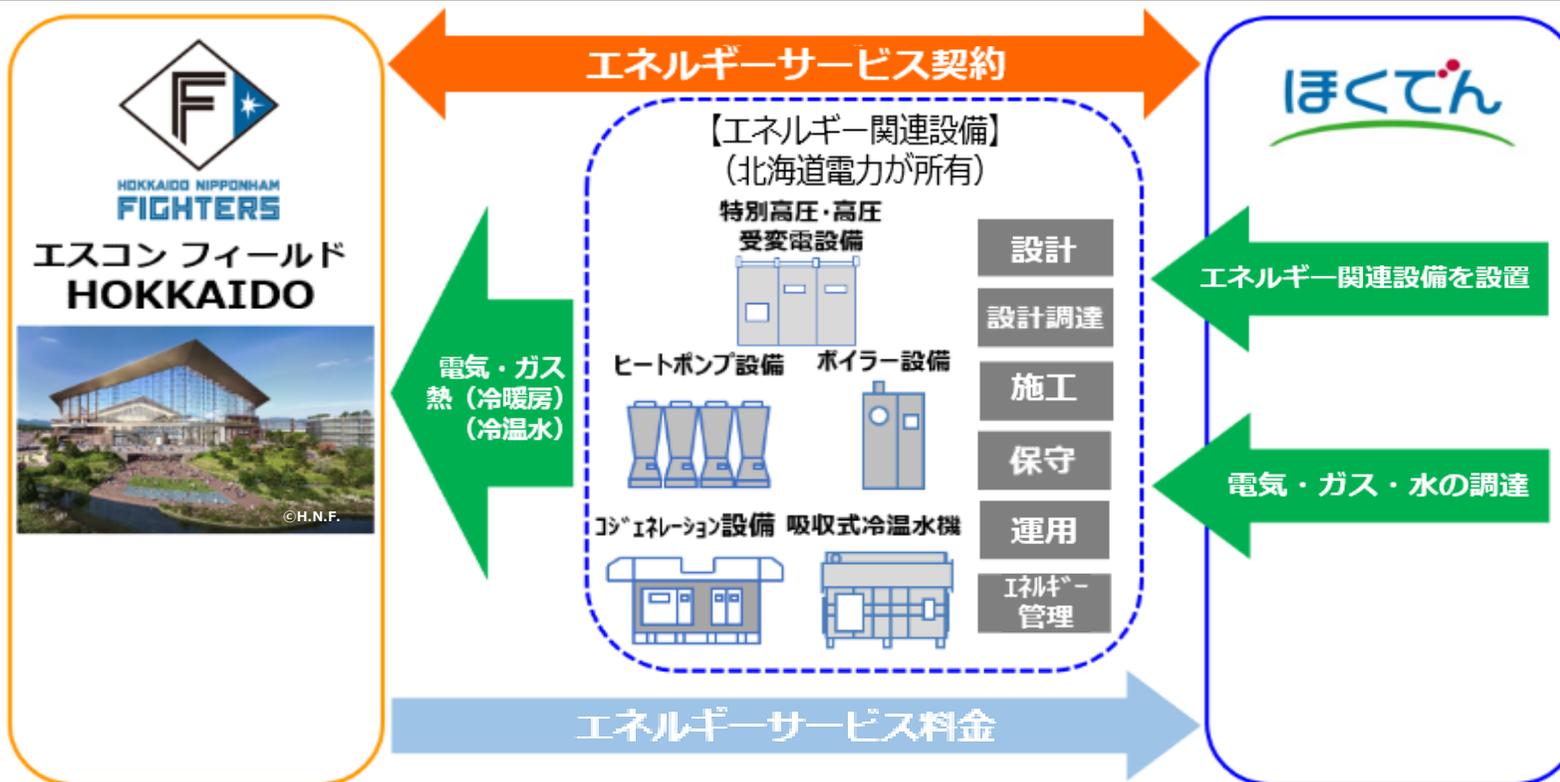
### ■ 産業部門



### ■ 運輸部門



- エネルギーサービスプロバイダ（ESP）事業として、省エネ・高効率機器の設置から、エネルギー調達、設備の運用まで、一括したサービスをご提供しています。
- お客さまは、資金の有効活用とエネルギー利用の効率化が可能となります。



- 2023年3月に開業した「エスコンフィールドHOKKAIDO」様においてもご採用いただき、円滑なスタジアム運営をサポートしています。
- 試合の有無などで大きく変化するエネルギー需要に対し、常に効率的な運用とするため様々な省エネ設備を組み合わせるサービスを提供しています。

- 国が進めるZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の普及に向けたコンサルティング事業として、計画・設計から竣工後の分析・運用改善に至るまでお客さまをサポートしています。

## ◆当社が関与した主なZEB事例

### 【宿泊施設】

- ・ 洞爺湖鶴雅リゾート 洗の舘 様（牡罫）

### 【商業施設】

- ・ COCONO SUSUKINO 様（札幌）
- ・ メガセンタートライアル伏古店 様（札幌）

### 【飲食店】

- ・ 丸亀製麺 鈴鹿店 様（三重県鈴鹿）

### 【事務所ビル】

- ・ 美幌町役場庁舎 様（美幌）
- ・ 大樹町役場庁舎 様（大樹）
- ・ S.Pホールディングス株式会社 様（札幌）
- ・ 前田住設本社ビル 様（旭川）
- ・ 北海道電気保安協会事務所 様（札幌）



美幌町役場庁舎 様



COCONO SUSUKINO 様（道内最大のZEB物件）



- 2023年7月、(株)アーク様との共同出資による発電事業会社「合同会社HARE晴れ<sup>はれば</sup>」を設立し、太陽光発電の開発を開始しました。
- 設備の点検や付帯設備の更新などは発電事業会社が一括して行い、発電した電気は、オフサイトPPA※の仕組みを活用してお客さまにお届けします。
- お客さまは、**設備設置スペース等の制約や初期費用の負担なく、再生電力のご利用が可能となります。**

※発電事業者が電力需要場所の敷地外に再生可能エネルギー発電設備の設置を行い、小売電気事業者が電力系統を経由して再生可能エネルギー発電設備で発電した電力を特定のお客さまにお届けする電力契約



- これまでに、北海道コカ・コーラボトリング(株)様、イオン北海道(株)様、札幌トヨタ自動車(株)様と契約締結しています。
- 引き続き、太陽光発電所の新規開発を行うとともに、お客さまのニーズに応じたご提案を進めてまいります。

- 環境省の「脱炭素先行地域」など、脱炭素に取り組む自治体への支援を行っています。
- これまでに当社が共同提案者として参画している札幌市様、苫小牧市様が「脱炭素先行地域」に選定されております。

## ◆ 苫小牧市様の取組み（一例）

### 1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 西部工業基地の企業等で生じる**休日の余剰電力**に加えて、沼ノ端クリーンセンターの**廃棄物発電**(2,000kW)を活用し、民生部門の需要家に再エネメニューとして供給
- ② 既設・新設住宅へ太陽光発電(710kW)・蓄電池、高効率給湯器の導入、**ZEH+**新築を補助
- ③ 公共施設3施設の照明を**LED化**

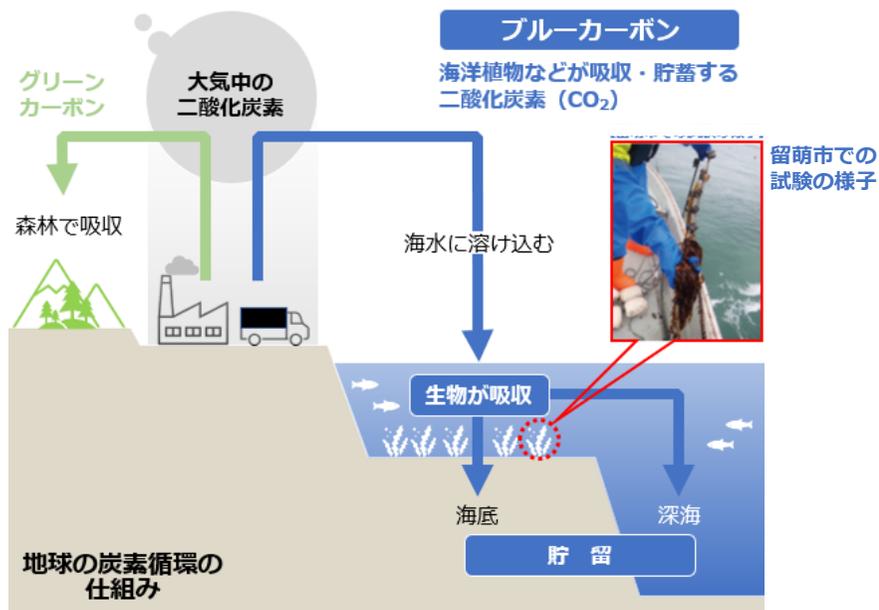


- 「脱炭素先行地域」では、2050年カーボンニュートラルに向けて民生部門の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出について実質ゼロを目標とするため、各自治体の特性やリクエストに応じたきめ細やかな対応を行っています。

- 地域の脱炭素化に加え、北海道のポテンシャルを最大限活かしながら、共に新たな価値を創り上げる「共創」の考えのもと、自治体や大学・研究機関等と連携し、地域の課題解決に資する取り組みを展開しています。

## ブルーカーボンの取り組み

留萌市様や森町様、北海道開発局様などと共に、ブルーカーボン事業に向けた研究開発を行っています。ブルーカーボン事業は海洋生態系の拡大・保全を通じて、CO<sub>2</sub>の吸収・貯留量を増やし、地球温暖化の防止に寄与するものです。本取り組みにより、磯焼けなどの地域課題の解決にも貢献していきます。



## 脱炭素に向けた連携協定

2023年6月22日に国立大学法人北海道大学様およびノーステック財団様と連携協定を締結し、北海道大学キャンパスでエネルギー管理システムを活用した実証などを通じて、地域の脱炭素化に資するモデル構築に向けた取り組みを進めています。

### 実証イメージ

